

第1学年 人権教育関連学習の構想 9月～11月（全24時間）

1 主 題 みつけよう みんなの「すてき」

2 ねらい

友達や地域の高齢者、幼稚園児と一緒に活動する中で、友達や地域の高齢者、幼稚園児の「よさ」に着目したり、自分の成長に気付いたりすることができるようにする。

3 主題設定の理由

[児童の実態]

本学年の児童は、素直で明るく元気がよく、「困っている友達」や「泣いている友達」を心配したり、助けたりするような優しさをもっている。4月に異なった幼稚園、保育園から入学してきた児童であるが、1学期には、学年集会やなかよしゲームを通してクラスの友達だけでなく、クラスを超えた友達の輪が広がってきている。また2学期には、学年全体で運動会に取り組むことにより、友達と一緒に活動する楽しさを感じるようになってきている。しかし、まだ自己中心的な思いが強いため、相手のことを考えない言動や、仲のよい友達のことだけを考えた言動が見られる。

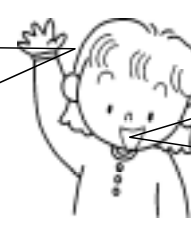
[研究主題とのかかわり]

「みつけよう みんなの『すてき』」という主題で国語・生活科・道徳・学級活動で単元を構成した。

国語の物語文・道徳の各資料では、登場人物の気持ちを想像することで、周りの人との友情や協力・尊敬などの心情をはぐくむ。生活科では、実際に高齢者と遊んだり話をしたりする中で、高齢者の豊富な知識や経験にふれ、高齢者のすばらしさに気付くことができるようにしたい。そして、「遊びの名人」になった児童は、友達と教え合ったり競い合ったりしながら、友達や高齢者にほめてもらったり認めてもらったりすることで、自分に自信をもつことができる。さらに幼稚園児に遊びを教える中で、自分の成長に気付くことができると考える。

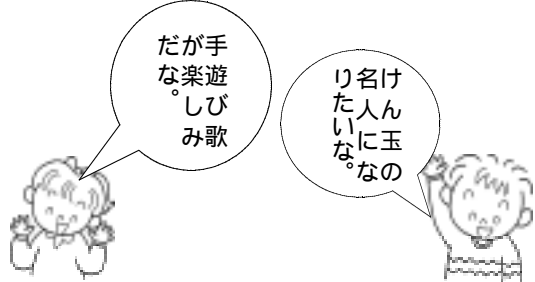

児童は、1学期からなかよし遠足・給食・学校探検等の中で、様々な人とのふれあいの機会をもってきた。さらに、本単元で地域の人、高齢者、幼稚園児とのふれあいを体験することにより、みんなの「すてき」に気付くことができ、本校の人権教育における研究主題「一人ひとりを大切に、ともに支え合っていく児童の育成をめざして」に迫っていけると考える。

4 人権教育関連構想図

中心となる教科・領域	生活科	単元名	「むかしのあそびをしよう」
単元のねらい	地域の高齢者に昔の遊びを教えもらったり、幼稚園児と一緒に遊んだりする中で、地域の高齢者や友達の素晴らしさや自分の成長に気付くことができる。		
<p>(教科・道徳・特別活動)</p> <p>--- 国 語 --- 「インタビューごっこをしよう」 はずかしがらずにはっきりと尋ねたり答えたりする練習をする。</p> <p>--- 道 徳 --- 「たけとんぼづくり」 2 - (4) 尊敬・感謝 日ごろお世話になっている人々に感謝しようとする態度を養う。</p> <p>--- 道 徳 --- 「二わのことり」 2 - (3) 友情 友だちと仲良くし助け合おうとする心情を育てる。</p> <p>--- 国 語 --- 「ずうっと、ずっと、大好きだよ」 ぼくとエルフの仲のよい様子や、死んだ後もエルフを愛し続けるぼくの優しい心を読みとる。</p> <p>- 学級活動 「素敵な学習発表会をしよう」 目標に向かって友達と力を合わせて努力しようとする。</p> <p>- 道 徳 「はしのうえのおおかみ」 2 - (2) 親切 身近にいる幼い人に温かい心で接し親切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>生活科 「むかしのあそびをしよう」</p> <p>知る</p> <p>昔はどんな遊びをしていたのだろう。</p> <p>/</p> <p>昔の遊びを教えもらおう準備をしよう。</p> <p>実践する</p> <p>ボランティア先生に昔の遊びを教えてもらおう。</p> <p>/</p> <p>もっとうまくなるように練習しよう。</p> <p>--- 本 時 --- もう一度ボランティア先生に教えもらってもっとじょうずになろう。</p> <p>/ 振り返る</p> <p>ボランティア先生たちにお礼の手紙を書こう。</p> <p>/ 広げる</p> <p>じょうずになった昔遊びを発表しよう。</p> <p>昔の遊びを幼稚園の人にも教えよう。</p>	<p>(児童の意識)</p> <p>おじいちゃんやおばあちゃんにきいてみよう。わたしもやってみたいな。</p> <p>ボランティア先生と遊びをしてみたいな。</p> <p>ボランティア先生はじょうずだな。教えてもらってうれしいな。</p> <p>また教えてもらいたいな。ボランティア先生たちとなかよくなりたいたいな。</p> <p>じょうずになってうれしいな。友達に教えてもらえたよ。ボランティア先生はすごいな。ボランティア先生たちとなかよくできたよ。</p> <p>またボランティア先生に会いたいな。</p> <p>幼稚園の人に優しく教えよう。昔の遊びはとてもおもしろかったよ。</p>	
<p>学習を終えた児童の姿</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>友達のいいところを見付けられたよ。 友達に教えてもらったり、助けてもらったりしたらうまくできたよ。 これからもみんなと仲よくしていききたいな。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 0 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>ボランティア先生は優しく教えてくれたよ。 また教えてもらいたいな。 幼稚園の人に教えてあげられてうれしかったよ。</p> </div> </div>			

5 本時案

第1学年 生活科学習指導案

<p>目 標</p>	<p>約束や遊びのルールを守って楽しく昔遊びをする中で、昔遊びの名人になるためのコツをボランティア先生に尋ねたり教えてもらったりしながら、昔遊びのよさや遊びがじょうずになった自分に気付き、ボランティア先生に感謝の気持ちをもつことができる。</p>	
<p>学 習 活 動</p>	<p>児 童 の 意 識</p>	<p>教 師 の 支 援 等</p>
<p>1 始めの会をする。 ・ボランティア先生にあいさつをする。 ・めあてや約束などを聞く。</p>		<p>遊びやボランティア先生の紹介をし、児童の意欲が高まるようにする。 めあてや約束、遊びの場所を確認する。</p>
<p>あそびのめいじんになろう</p>	<p><場の設定></p>	<p>安全に遊びを楽しむことができるように遊び場所を決めたり、仕切ったりする。</p>
<p>2 昔遊びをしたり、コツを教えてもらったりする。 ・自分がじょうずになりたい遊びのコーナーへ行く。 ・ボランティア先生にじょうずになるコツを教えてもらう。 ・友達と遊びを楽しむ。</p>		<p>遊びの場所の表示をして分かりやすくしておく。 じょうずになりたい遊びやボランティア先生への質問を書いたパスポートを持たせる。 ボランティア先生に質問ができている児童を称揚する。 遊びの中に入り遊びがじょうずになっている児童を見付け称揚する。 困っている児童には、何をしたいのか聞き、一緒に遊びをすることで自信をもって活動できるようにする。</p>
<p>3 終わりの会をする。 ・できるようになったことや気付いたことを発表する。 ・ボランティア先生の話聞く。 ・お礼を言う。</p>	<p>・できなかったけん玉ができるようになってうれしかった。 ・ボランティア先生とあやとりをしたのが楽しかった。 ・さんがじょうずにだるま落としをしていたよ。 ・こまのひもをしっかり巻いたらこまがよく回ったよ。 ・ボランティア先生に教えてもらったなら、めんこがうまくなったよ。</p>	<p>自分が選んだ遊びの教室で終わりの会に参加し、互いにがんばったことやできるようになったことが認め合えるようにする。 終わりの会をすることで、個々の気付きが全体に広がりやすくなるように、また高齢者に感謝の気持ちをもちやすくする。 できるようになったことや気付いたことが発表できた児童を称揚する。 ボランティア先生に、がんばっていた児童の様子を話してもらうよう事前をお願いしておく。</p>